

ミニ案内



【御嶽山大和本宮 歴史・簡単概要】

御嶽山大和本宮（おんたけさんやまともとみや）は御嶽山を根本道場とする御嶽教の神社で、御嶽山は長野県と岐阜県にまたがる標高約 3,067m の複合成層火山で、飛鳥時代後期の 702 年（大宝 2 年）に修験道（しゅげんどう）の開祖である役行者（えんのぎょうじゃ）・役小角（えんのおづぬ）が開山したとされています。御嶽山はかつて百日間の重潔齋を満行した一部の武家のみにしか登拝が許されなかったが、1785 年（天明 5 年）の覚明行者による黒沢口開山、1792 年（寛政 4 年）の普寛行者による王滝口開山以来、軽潔齋での登拝が許されるようになりました。御嶽山には御嶽大神とも言われる国常立尊（くにのとこたちのみこと・國常立尊）・大己貴命（おおなむちのみこと）・少彦名命（すくなひこなのみこと）が鎮まっています。御嶽教は御嶽山を根本道場とし、1882 年（明治 15 年）5 月 17 日に明治政府から御嶽山に登拝する崇敬信仰者が集団結合して立教独立をすることを公認され、同年 9 月 28 日に開教されました。1965 年（昭和 40 年）に現在の御嶽山大和本宮が奈良市大湊町に建立されました。なお御嶽教では行道の修行道場、また御嶽登拝の祈願所として御嶽山木曾本宮が建立されています。

参考URL <https://www.ontakekyo.or.jp/>

【御嶽山大和本宮 見どころ・文化財】

御嶽山大和本宮の見どころは天地開闢・造化育成の神である国常立尊、幸福・子宝・縁結びの福德神である大己貴命、医療・禁厭の神である少彦名命を祀る本殿です。本殿大屋根の高さが約 23m、千木が 3m です。また桜も見どころです。

【阿弥陀寺（通称：みねのてら）】

近鉄学園前駅の北西側、近鉄富雄駅の北東側にあたる丘陵地・高台に位置する
小さなお寺です。お寺は江戸時代以降、300年程度の歴史を持っています。

現在では郊外住宅地の一角にひっそりと佇むお寺となっていますが、

檀家制度を廃止し、檀家寺固有のしきたりが無い。写経が主なお寺の活動であり、
永代供養塔の運営も行っています。

本堂の建物は江戸時代の創建当初のものであり、境内の静かな佇まいは、奈良市内
の有名寺院とはまた異なった日常生活に根差した仏教の世界を感じさせます。

参考URL <https://minenotera.business.site/>

【辻地蔵（新田地蔵会）】

奈良市学園前の住宅地に「地蔵山」があるのをご存じでしょうか？

場所は学園前駅北口からわずか200メートルほど、パラディの裏側です。

小さな山があります。20段ほどの階段を上がりきると頂上は平らに綺麗にされてお

り北側に優しげな表情のお地蔵様、東側には石灯籠や石仏 1647年、1759年、1716

年、などの記述があります。1716年のお地蔵様には「二名村住人」（この地はかつて

富雄二名村の一部でありました）が発願した、との記述が残されています。

〈毎日新聞の記事より〉

